

令和5年度

江別市における青少年健全育成
関連施策

江別市教育委員会

学校教育支援室教育支援課

生涯学習課

目 次

「心のケアの充実」

・ 問題行動対策事業	・・・	1
・ いじめ・不登校対策事業	・・・	3
・ 「心の教室」相談事業	・・・	5
・ スクールカウンセラー事業	・・・	6
・ スクールソーシャルワーカー事業	・・・	7

「青少年健全育成活動の充実」

・ 地域体験活動事業	・・・	10
・ 子ども会育成事業	・・・	12
・ はたちのつどい開催事業	・・・	14
・ 科学体験教室開催事業	・・・	15
・ 青少年のための市民会議補助金	・・・	17
・ 青少年キャンプ村事業	・・・	19
・ 江別の魅力「食」と「自然」を満 喫できる体験型学習事業	・・・	21

事業名：問題行動対策事業

教育支援課 主査(教育支援)

政策	06 子育て・教育		戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実		具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,654	8,689	8,656	8,785
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

・専任指導員、少年育成委員を配置し巡回街頭指導等を行う。
 ・小・中・高の生徒指導担当教員や市の子育て支援課、警察などで構成する江別市指導連絡会等を開催し、関係機関の連携を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	巡回指導実施回数	回	200	120	182	170
活動指標 2	関係機関連携会議開催回数	回	14	10	14	14

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

・児童生徒による問題行動が発生しなくなる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	補導された小中学校児童生徒数	人	44	43	92	40
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	4,978	5,056	5,175	6,245
正職員人件費(B)		千円	6,485	6,466	6,463	6,531
総事業費(A+B)		千円	11,463	11,522	11,638	12,776

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 巡回街頭指導の実施 祭典巡回指導の実施 江別市指導連絡会等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 専任指導員報酬・手当：4,740千円 少年育成委員報酬：224千円 	

令和5年度 校外生活のきまり

保護者の皆様へ

- 児童生徒の校外生活について、健全育成という観点で、行動など注意深く見守りください。また、社会生活のマナーなどについても大人自ら手本を示してください。
- 市内の各小中学校では、地域や学校の行事等に応じて、細かなきまり等が提示されることもありますので確認の上ご指導ください。

外出について

- 出かけるときは、行き先、目的、帰る時刻を家の人に告げてから外出する。
- 外出時刻は、

月	小学生	中学生
4～9月	午後6時まで	午後7時まで
10月	午後5時まで	午後6時半まで
11～2月	午後5時まで	午後6時まで
3月		午後6時半まで

- ※ 保護者と一緒にときは、保護者の判断による。尚、学校独自の取り決めもあるので、その際は、学校の「きまり」を守る。
- 登下校の途中で、買い物や飲食はしない。
 - 映画には、3年生以下は、必ず保護者など大人と一緒に行く。4年生以上が外出時刻を超える時は、保護者など大人と一緒に行く。
 - 友達を泊めたり、友達の家泊まりしたりしない。

遊びについて

- 危険な場所(工事現場、線路、河川など)へ近づかない。

- また、危険な遊び(花火の変造、火遊び、人や動物を標的にするエアガン等の遊具)はしない。
- 花火は、時間、場所、安全を考えて近所に迷惑をかけるないように、保護者など大人と一緒に行う。
 - 魚つり、キャンプ、登山、海水浴、スキーに行くときは、保護者など大人と一緒に行く。
 - ゲーム場やゲームコーナー、ボウリング場、カラオケボックス、インターネットカフェは、保護者など大人と一緒になければ利用できない。
 - スケートボードは公園等で人に迷惑がかからないように使用することとし、道路の使用は原則として禁止とする。

交通安全について

- 道路では遊ばない。
また、信号を守り、常に車や左右の道路状況に注意するなど安全確認をする。
- 自転車の利用については、歩行者や車に迷惑をかけるないように交通ルールやマナーを守る。
自転車に乗る時は、ヘルメットをかぶるなど安全には十分に気を付けるとともに、横断歩道を渡る時は、自転車からおり、必ず左右を確認してからおしる。

その他

- 不審者に十分注意し、何かあった場合は、近くの大人や子ども110番の家などに助けを求め、すぐ警察や学校へ通報する。
- 市民体育館などの公共施設を使うときは、ルールやマナーをしっかり守って利用する。
- 大型店や商店への出入りは、用事のあるときだけにし、むやみに立ち入らない。
○ 万引きは犯罪であり、絶対しない。
○ お客さんに迷惑となる行動はしない。
- インターネット等を利用する場合は、フィルタリングをかけるなど家庭のルールを決めて利用する。

えべつスマート4RULES (ルール)

※江別市内小・中学生のスマホ・ネット等の利用に関する共通ルール

- ＜ルール1＞ 1日2時間以内とし、友だちとのメールなどのやり取りは、夜9時以降は行わない。
- ＜ルール2＞ 悪口や人を傷つける内容は書き込まない。送る前に、しっかりと確認する。
- ＜ルール3＞ 名前・住所・学校名・顔写真などの個人情報報は、絶対に投稿・公開しない。
- ＜ルール4＞ 困った時は一人で悩まず、保護者や先生などの大人に相談する。

令和4年度 青少年健全育成標語 入賞作品

- ◆ごめんねの その一言で 仲直り だれでもできる チャレンジしよう 野幌若葉小学校 6年 小泉 唯花 さん
- ◆どうしたの その一言に 救われる 気づいてあげよう 心の傷に 文京台小学校 6年 津川 凜 さん
- ◆わたしのいのち あなたのいのち 同じ大切な命 順番や大きさはない 大麻泉小学校 6年 前鼻 咲良 さん
- ◆その言葉 あなたは明日 忘れても 相手は一生 忘れない 大麻東中学校 2年 川田 彩愛 さん

困ったことや相談などは・・・

- 江別市少年指導センター 384-7830
- 江別市いじめ不登校相談 382-4044
- 江別市家庭児童相談 381-1236
- 子ども相談支援センター 0120-3882-56 (24時間)

江別市立 学校

TEL 000-0000

事業名：いじめ・不登校対策事業

教育支援課 主査(教育支援)

政策	06 子育て・教育	戦略						
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

・児童生徒、保護者及び教育関係者

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標1	小中学校児童生徒数	人	8,654	8,689	8,656	8,785
対象指標2	不登校児童生徒数	人	208	258	286	260

手段(事務事業の内容、手法)

・いじめ・不登校の専用相談窓口を設置し、専任指導員等が相談対応する。
 ・青年センターにおいて、スクールカウンセラーによる教育相談を実施する。
 ・不登校児童生徒を対象に、適応指導教室「すぼっとケア」を運営する。
 ・いじめ問題等について、児童生徒が市教委に直接伝える「心のダイレクトメール」を実施する。
 ・いじめ問題をテーマの一つとして中学生サミットを開催する。
 ・情報モラル講演会を開催するほか、普及啓発資料を配付する。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標1	いじめ・不登校相談件数	件	80	68	62	80
活動指標2	すぼっとケア・ケア事業開催回数	回	120	159	178	200

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

・いじめが解消される。
 ・不登校の児童生徒が再登校できるようになる。
 又は、登校には至らないものの、学校外の機関等での相談・支援等を受けるなど状況が変化する。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標1	いじめの解消率	%	99	99	66	67
成果指標2	再登校率	%	8	22	29	20

	事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
	事業費(A)	千円	5,671	6,393	8,548	8,578
	正職員人件費(B)	千円	8,773	8,748	8,364	3,842
	総事業費(A+B)	千円	14,444	15,141	16,912	12,420

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
4年度	<ul style="list-style-type: none"> いじめ・不登校の専用相談の実施 スクールカウンセラーによる教育相談の実施 不登校児童生徒を対象にすぼっとケア(学習支援)とケア事業(体験活動)の実施 心のダイレクトメール事業の実施 中学生サミットの開催 情報モラル普及啓発の実施 	専任指導員等報酬・手当：7,284千円 心のダイレクトメール事業経費：29千円 中学生サミット開催経費：57千円 情報モラル普及啓発経費：186千円

江別市適応指導教室「すぽっとケア」案内

不登校に悩んだら、
まずはご相談ください

学校に行きたくても 行けない子のために

学校や保護者の
皆さんを応援します

～支援の基本姿勢～

集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善等のため
お子様や保護者の方の教育相談を進めながら困り感の解消に努めます。
学校と連携し、社会的自立に向かえるよう支援します。

活動内容

日 課 表

月・水・木・金曜日	青年センター 緑町西 2-11		火曜日	情報図書館 野幌末広町 7	
朝の会	10:00~10:10		朝の会	10:00~10:10	
学習活動	10:10~11:15	自学自習	読書前半	10:10~11:00	読書活動
交流活動(金:体育活動)	11:15~11:50		読書後半	11:00~11:45	読書活動 交流活動等
振り返り	11:50~11:55	日記記入			
帰りの会	11:55~12:00	片付け	帰りの会	11:45~12:00	日記記入

専任指導員、専任相談員、SSW(スクールソーシャルワーカー)、学習サポーターで支援を行います。

【個別指導】

- ・学習支援
- ・相談活動
- ・個室支援
- ・訪問支援

【集団指導】

- ・交流活動、体育活動(毎週金曜日)
- ・読書活動(毎週火曜日)
- ・ケア事業(年10回程度)
料理教室、百人一首、カードゲーム
食育・農業体験、高校見学
軽スポーツ等

【連携支援】

- ・学校との情報共有
- ・保護者相談
- ・保護者懇談会(7月と11月)
- ・SSWとの連携
- ・学校訪問

※年間カレンダーをご参照ください。



私(ぼく)にとっての「すぽっとケア」

いばしょ

- ☆安心できる場所。 ☆いろいろな方とコミュニケーションがとれる場所。
- ☆もう一つの学校のような場所でした。
- ☆初めて来た時は、緊張して声も出せない程でしたが、慣れてしまえばこんなに居心地のいいところはありませんでした。

じぶん

- ☆本を読める場所
- ☆話をして楽しんだり、集中して学習ができる場所。
- ☆自分についてじっくり考え、知ることができる場所。
- ☆帰る時には、ちょっと気持ちが明るくなる場所。

みらい

- ☆自分の目標を明確にし、活動することができ、前に進むことをサポートしてくれる場所です。
- ☆私たちの将来の為に、応援してくれたり、手助けしてくれる場所でした。

おとな

- ☆先生や相談員の方々が真剣に話を聞いてくれる場所。
- ☆信頼できる大人の人がいる場所。
- ☆家族で色々あり、先生方の力に頼ることも多々…その度に一緒に解決のために動いてくださいました。
- ☆進路の事でよく相談に乗ってくれました。今の私があるのも、卒業できたのも「すぽっとケア」のおかげ。

なかま

- ☆たのしい場所。
- ☆沢山笑うことができ、充実した時間を過ごせた。
- ☆皆おもしろくて優しい性格で過ごしやすい場所でした。
- ☆たくさんお話ができる楽しい場所。
- ☆友達がいて楽しい場所。
- ☆色々な学校の人と話せる、楽しい場所。

連絡先

江別市教育委員会 教育支援課 011-381-1409 または 384-7830(直通)
すぽっとケアメール spot-daihyo@ed.city.ebetsu.hokkaido.jp



事業名：「心の教室」相談事業

教育支援課 主査(教育支援)

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

・児童及び保護者

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小学校児童数	人	5,751	5,759	5,825	5,853
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

・相談員を小学校に配置し、学校生活や日常の様々な悩みや困りごとの相談に応じる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	相談員配置学校数	校	17	17	17	17
活動指標 2	延べ相談時間	時間	5,386	5,096	5,194	5,400

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

・児童及び保護者の悩みが軽減、解消される。
 ・児童が安心して学校生活を過ごせる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	延べ相談件数	件	14,689	10,971	13,580	14,700
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	5,402	5,176	5,301	5,550
正職員人件費(B)		千円	1,526	1,521	1,521	1,537
総事業費(A+B)		千円	6,928	6,697	6,822	7,087

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
4年度	・小学校17校に心の教室相談員を配置し、児童及び保護者の悩みや相談に対応	心の教室相談員報酬：5,220千円	

事業名：スクールカウンセラー事業

教育支援課 主査(教育支援)

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,654	8,689	8,656	8,785
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

・小中学校にカウンセラー(臨床心理士等)を派遣し、対象校の児童生徒をカウンセリングの対象として相談業務にあたる(報酬は北海道負担)。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	配置学校数	校	10	11	25	25
活動指標 2	延べ相談時間	時間	785	770	723	780

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

・児童生徒、保護者、教育関係者の悩みが軽減、解消される。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	延べ相談件数	件	1,160	1,189	958	1,170
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	25	0	32	32
正職員人件費(B)		千円	1,526	1,521	1,521	1,537
総事業費(A+B)		千円	1,551	1,521	1,553	1,569

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)
4年度	市内小中学校にスクールカウンセラーを派遣し、相談業務にあたる。	消耗品費：32千円

事業名：スクールソーシャルワーカー事業 教育支援課 主査(教育支援)

政策	06 子育て・教育	戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実	具体的施策	(2) 教育内容の充実				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,654	8,689	8,656	8,785
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

・課題を抱える児童生徒や保護者に対する医療受診や福祉サービス利用等の働きかけ
 ・学校や関係機関(医療機関、児童相談所、福祉サービス事業所等)との連携や調整
 ・保護者や学校への児童生徒理解等に関する助言や相談支援

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	スクールソーシャルワーカー配置人数	人	3	3	3	3
活動指標 2	延べ相談支援件数	件	1,099	740	764	1,100

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

・児童生徒、保護者の抱える課題が解決される。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	支援児童生徒数	人	181	166	175	180
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	6,722	7,187	7,427	7,361
正職員人件費(B)		千円	3,052	3,043	3,042	3,073
総事業費(A+B)		千円	9,774	10,230	10,469	10,434

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
4年度	福祉の専門知識を持つスクールソーシャルワーカーが、課題を抱える児童生徒や保護者に対する支援を行う。 なお、活動指標2「延べ相談支援件数」は、成果指標1「支援児童生徒数」に対して行った相談支援の延べ件数である。	スクールソーシャルワーカー報酬・手当：7,418千円	

＊ スクールソーシャルワーカー(SSW)だより ＊

江別市教育委員会
学校教育支援室
教育支援課

～ こんにちは！江別市のスクールソーシャルワーカーです ～

江別市教育委員会では、スクールソーシャルワーカー（SSW）3名を配置し、不登校やいじめ虐待、DV、貧困、発達障がいなど、児童生徒や保護者、先生方のさまざまな困り感に福祉的な立場から助言や支援を行っています。

昨今は新型コロナウイルスの感染不安や新たな生活スタイルへの変化も生まれ、大人はもちろん子ども達も不安な毎日を送らなければならない状態が続いており、昨年度はSSW全体で175件のケースの支援を行いました。

登校が安定しない、家庭環境による子どもへの影響、特別な配慮や対応など、子ども達が安心・安全を実感できる学校生活が送れるよう、SSWの活用をご検討ください。



【令和5年度のSSW担当校について】

SSW 田村千波		SSW 長谷川敬		SSW 三国富美子	
9時～17時15分勤務 (火曜日休み)		9時～17時15分勤務 (水曜日休み)		9時～17時15分勤務 (木曜日休み)	
小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
大麻小学校 大麻西小学校 文京台小学校 大麻東小学校 大麻泉小学校 野幌小学校	大麻中学校 大麻東中学校	江別第二小学校 中央小学校 対雁小学校 東野幌小学校 野幌若葉小学校	江別第二中学校 中央中学校 野幌中学校	江別第一小学校 豊幌小学校 江別太小学校 北光小学校 いずみ野小学校 上江別小学校	江別第一中学校 江別第三中学校 江陽中学校
もう随分長く江別でSSWをしている田村千波です。道教委のSSWも兼任させていただき、たくさんの事例に関わらせていただいています。今年度もよろしくお願いたします。		SSW3年目の長谷川敬です。今年度、新たに中央小、対雁小、中央中を担当することになりました。先生方、保護者の皆様のお話を丁寧にお聞きしたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。		初めまして、今年度より江別市のSSWとなりました三国富美子です。先生方と一緒に、子どもたち・保護者の方に関わっていけたらと思っています。どうぞよろしくお願いたします。	

ケース相談の流れについて

① 各小中学校から教育支援課へ連絡してSSWの派遣を要請してください。派遣要請は「学校としての決定」に基づき、管理職が状況を把握した上で行ってください。

※派遣要請にかかる書類等は不要です。

※問題を抱える児童生徒の状況について概要と、以降SSWとの連絡担当者をお知らせください。

(管理職、特支コーディネーター、生徒指導担当等)

② 相談内容の基本的な情報や近況についてお伺いします。

※電話や学校訪問で、担任やコーディネーターから様子をお聞きします。

③ 児童生徒の授業観察や保護者面談などを行い、現在の課題の把握や、支援の方向性の共有等を行います。

④ 児童生徒が置かれている状況に応じて対応をします。

※子育て支援課や児童相談所、放課後等デイサービス、医療等との機関連携や、支援における情報共有と方向性の確認、役割の設定のためのケース会議など、具体的な支援プランを提案します。

「巡回相談」

江別市では発達や学習において心配や配慮が必要な児童生徒に対し、学校に専門家を派遣し、検査や助言を受けることができる巡回相談を実施しています。

SSWは「巡回相談」や「すぽっとケア」と、児童生徒や家庭を繋ぐための支援も行っています。

適応指導教室 「すぽっとケア」

学校に登校できない児童生徒の居場所作りとして、江別市青年センターや情報図書館を利用し、適応指導教室を開設しています。

※今年度から月曜～金曜（午前10時～12時）の週5日開設に拡大しました。

校内ケース会議・支援会議へのスクールソーシャルワーカー(SSW)の参加をご検討ください

～ 子どもを取り巻く問題の複雑化・多様化に備えて ～

SSWは「チーム学校」の実現に向けて、専門性に基づく具体的なチーム体制や「見立て」と「見通し」を提案しています。個別ケースへの初期対応をはじめ、不登校などへの予防的な対策の検討など、各学校で行われるケース会議や校内支援会議にSSWが参加し、日頃から学校の状況を共有することで、関係機関等とのコーディネートを効果的に図ることができます。

※ 会議の日程等につきまして、都度各担当SSWにお知らせください。

つなげるところ つながる支援

ご相談は、江別市教育委員会 教育支援課

スクールソーシャルワーカーまで

江別市高砂町24-6 TEL 011-381-1409



事業名：地域体験活動事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育	戦略						
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実	具体的施策						
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学生

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市内小中学校児童生徒数	人	8,654	8,689	8,656	8,785
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

地域資源を活用した体験活動を子どもたちに提供する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	実施事業数	事業	2	1	3	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

体験活動を通して子どもの可能性を引き出すとともに、学力だけでは計ることのできない感性・意欲・忍耐力などの育成を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	事業参加者数	人	36	18	48	51
成果指標 2						

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)	千円	21	0	30	129
正職員人件費 (B)	千円	2,289	2,282	1,141	1,921
総事業費 (A+B)	千円	2,310	2,282	1,171	2,050

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度	【自然体験】 ツリーイング体験会の実施 【生活体験】 はじめてのお泊まり会（コロナ禍のため休止）	自然体験委託料 30千円

ツリーイング(木登り)体験

【ツリーイングとは？】

専用のハーネス(安全ベルト)をつけて木に登り、自然との一体感を味わう体験活動です。

普段、登ることができない高い木の上で、開放感や達成感を感じてみませんか？木の上から見る景色は最高です！
みんなで一緒に楽しい思い出を作りましょう！！

【日 時】 7月17日(日)、18日(月・祝)
各日、ともに 第1部:10時～11時30分
第2部:12時30分～14時
第3部:14時30分～16時

【会 場】 湯川公園(江別市野幌寿町19)

【対 象】 小学4年生～中学3年生

【定 員】 各部 6名(1日18名、2日間で36名)

【申込受付】 6月24日(金)～7月5日(火)

※申込数が定員を超えた場合は抽選となります

【参加費】 無料



詳しくは
裏面を見てね！

【お問合せ先】

江別市教育委員会 生涯学習課

〒067-0074

江別市高砂町24-6

電話：011-381-1069



事業名：子ども会育成事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育	戦略							
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実	具体的施策							
開始年度	昭和36年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市子ども会育成連絡協議会（江別、野幌、大麻・文京台地区育成会）

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	補助金交付団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2	市内の各地区子ども会育成会の数	団体	3	3	3	3

手段（事務事業の内容、手法）

江別市子ども会育成連絡協議会が取り組む、幅広い年齢層の子どもたちへの豊かな体験活動と各地区育成会の行う活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	540	737	737	737
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市子ども会育成連絡協議会及び各地区育成会において、各種体験型事業が開催され、参加する児童・生徒数が増えることで、会の活動の活発化と子どもたちへの体験の機会が図られる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	子ども会活動への地域住民の参加延べ数	人	22	48	90	48
成果指標 2	子ども会活動の取り組み数	件	4	7	10	8

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	540	737	737	737
正職員人件費 (B)		千円	1,907	1,902	1,521	2,689
総事業費 (A+B)		千円	2,447	2,639	2,258	3,426

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 【実施事業】 ・こいのぼりフェスティバル ・青少年キャンプ村 ・ドッチビー体験会 ・各地区育成会との連携、協力 ・ジュニアリーダー養成の支援 【中止事業】 ・小学生相撲大会 ・小中学生かるた大会の開催 ・スノーフェスティバル 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会への補助金 737千円

知ろう!やってみよう!

ドッジビー体験会

令和4年11月5日(土)9時30分から

場所:東野幌体育館(江別市東野幌町 28-23)

対象:市内在住の小学生から一般



ドッジビーとは?

フリスビーのようなディスクを使うニュースポーツです。素材がやわらかいので当たっても痛くありません。年齢に関係なく楽しめますので、ぜひ、親子や友達同士でご参加ください!



北海道フライングディスク協会の講師陣



新型コロナウイルス感染症対策を徹底して実施するよ!



主催 江別市子ども会育成連絡協議会
江別市教育委員会
協力 北海道フライングディスク協会

<問合せ先>

江別市教育委員会 生涯学習課 青少年係
江別市高砂町 24-6
TEL : 011-381-1069
MAIL : shogaigakushu@city.ebetsu.lg.jp

事業名：はたちのつどい開催事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育	戦略							
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実	具体的施策							
開始年度	昭和33年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- はたちのつどい実行委員会
- 20歳年齢到達者

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	実行委員数	人	5	8	4	5
対象指標 2	20歳の年齢到達者数（令和3年度までは「新成人数」）	人	1,447	2,825	1,362	1,269

手段（事務事業の内容、手法）

- その年度に20歳（はたち）となる青年の有志から構成される実行委員会が、自ら企画や準備を行い、「はたちのつどい」を開催する。
- 「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市はたちのつどい実行委員会に対して、アトラクション出演謝礼、交歓会景品代など、はたちのつどい開催に要する経費について補助金を交付する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	86	360	180	180
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- 20歳（はたち）の年齢到達に伴い、成年としてのほぼすべての権利を行使できるようになる人生の節目を祝福・激励することで、参加した20歳年齢到達者に対して、自らが自立した社会人であることへの責任と自覚を促し、より良い社会の創造への貢献の決意に加え、市民としての連帯感を高める。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	はたちのつどい出席者数（令和3年度までは「成人のつどい参加者数」）	人	0	1,375	762	605
成果指標 2	出席率	%	0	48.7	55.95	55

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	426	1,077	569	571
正職員人件費 (B)		千円	2,289	2,282	1,901	1,921
総事業費 (A+B)		千円	2,715	3,359	2,470	2,492

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 実行委員会の開催 ▪ 案内状の発送 ▪ しおりの作成 ▪ はたちのつどいの開催及び運営 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 実行委員会への補助 ▪ 案内状の郵送料 ▪ しおりの印刷費用 ▪ 会場使用料 	<p>180千円 100千円 36千円 193千円</p>

事業名：科学体験教室開催事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育	戦略						
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実	具体的施策						
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学校1年生から6年生までの児童・生徒

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市内の小学1年生から6年生までの児童数	人	0	0	5,825	5,853
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

- 小中学校への周知や市広報などを通して参加者を募集する。
- 科学講師を招き、参加者に科学の不思議さや楽しさを伝えながら、考える力を養うきっかけを提供できる体験教室を開講する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	年間開催回数	回	0	0	2	4
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- 科学の不思議さや楽しさを体験することで科学に興味・関心を抱くようになる。
- 子どもたちの知的好奇心が刺激されることで、疑問に思うことへの探求心が育まれる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	年間延べ参加者数	人	0	0	60	120
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	58	163
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,141	1,152
総事業費 (A+B)		千円	0	0	1,199	1,315

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	科学体験教室の開催	講師謝礼 29千円	消耗品 18千円
		募集チラシ印刷費 11千円	



科学 体験教室



【第1回】混ぜるな危険！～身近な液体を調べよう～

◆日時 2022.12.10(土) 14:00～16:00

◇対象 市内の小学校に通う4～6年生

お家にある色々な液体の性質について調べる実験を行います

【第2回】カラフル！キラキラ！光の世界

◆日時 2022.12.18(日) 10:00～12:00

◇対象 市内の小学校に通う1～3年生

簡単万華鏡や光の小箱づくりを通して光の不思議を体験します

●場所 野幌公民館 ホール(江別市野幌町13-6)

○定員 各回30名(応募多数の場合は抽選となります)

●講師 横山 光 先生(北翔大学 教育文化学部)

申込方法 裏面の申込用紙を 11/28(月) までに
事務局に郵送、電話、FAX、メールまたは持参して下さい。

問い合わせ 〒067-0074 江別市高砂町24-6

申込み先 江別市教育委員会生涯学習課

TEL:(011)381-1069 FAX:(011)382-3434

E-mail:shougaigakushu@city.ebetsu.jg.jp

事業名：青少年のための市民会議補助金

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育	戦略							
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実	具体的施策							
開始年度	昭和55年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市青少年のための市民会議

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	補助交付団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

江別市青少年のための市民会議が取り組む、青少年の健全育成等の啓発活動や青少年の非行防止活動及び有害環境の点検活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、活動費の一部を補助する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	120	120	120	120
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市青少年のための市民会議が行う活動が充実し、青少年を取り巻く環境が向上していく。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	主催事業協力者数（令和3年度まで）	人	39	30	35	35
成果指標 2	健全育成標語応募件数	件	2,414	0	0	800

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)	千円	120	120	120	120
正職員人件費 (B)	千円	1,907	1,902	1,901	2,689
総事業費 (A+B)	千円	2,027	2,022	2,021	2,809

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 青少年健全育成啓発などの標語募集・選考 ▪ 少年の主張石狩地区大会江別代表者の選考 ▪ からくりの道体験会・コンテスト ▪ 青少年健全育成活動発表会 ▪ 課外活動E X P O 	市民会議への補助 120千円

令和4年度 青少年健全育成



有害サイトの利用防止、命の重さ、

家族、友達との絆...

あなたのメッセージを標語にして

伝えてみませんか？

※交通安全標語は選考対象外です。

令和3年度 最優秀賞

- 「命はね 親からもらった プレゼント 世界に一つ 大切なもの」
文京台小学校 6年 山口 柚葉さん
- 「反抗期 イライラ私の照れ隠し 本当はいいたい “いつもありがとう”」
大麻東中学校 2年 佐藤 由唯さん
- 「気をつけて その一言が 傷つける 知るべき 言葉の重み」
北海道江別高等学校 1年 宮本 桜汰さん



応募期間 7月19日(火)～8月31日(水)

江別市青少年のための市民会議

事業名：青少年キャンプ村事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育	戦略						
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実	具体的施策						
開始年度	昭和43年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小学校4年生から中学校3年生の児童生徒

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市内の小学校4年生から中学校3年生の児童生徒数	人	0	5,852	5,783	5,880
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

自然体験事業として日常生活から離れ、自然豊かな環境の中で青少年キャンプ村を1泊2日の日程で開催する。大学生、高校生で構成されるボランティアサークルの指導によりキャンプを行う。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	キャンプ村開催日数	日	0	5	5	5
活動指標 2						

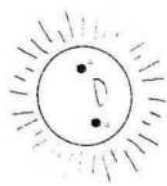
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

野外生活の楽しさを感じるとともに、異年齢との交流及び集団生活を通して、規律ある生活態度・生活技術を学び、子どもたちの協調性や社会性を高める。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	参加グループ数	グループ	0	37	64	90
成果指標 2	青少年キャンプ村参加人数	人	0	104	165	250

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)	千円	0	618	688	784
正職員人件費 (B)	千円	2,289	2,282	1,901	1,921
総事業費 (A+B)	千円	2,289	2,900	2,589	2,705

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度	8月上旬に江別市森林キャンプ場において、高校生と大学生からなるボランティアサークルの指導の下で1泊2日のキャンプを実施。	<ul style="list-style-type: none"> 生活指導員謝礼 336千円 生活指導員ほか食材 70千円 仮設トイレ設置等の委託料 279千円



kangari kingdom

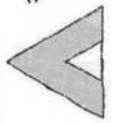
かんがり王国

日時

この5日間からえらんでね!

- 8/8 (月) 13:00 ~ 9(火) 11:30
- 8/9 (火) 13:00 ~ 10(水) 11:30
- 8/10(水) 13:00 ~ 11(木) 11:30
- 8/11(木) 13:00 ~ 12(金) 11:30
- 8/12(金) 13:00 ~ 13(土) 11:30

今年テントに泊まるよ!



今年、参加者全員にオリジナルうちね、申込者全員にオリジナルクリアファイルをプレゼント!

対象

江別市に住んでいる
小学4年生～中学3年生

定員

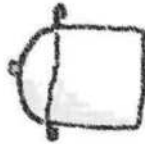
36～40名程度
申し込み多数の場合は各日の参加者を抽選により決定します。

場所

江別市森林キャンプ場
(西野幌928番地)

参加費

1人 1,500円
(備品費 保険代)



申し込み方法

教育庁舎、小・中学校、江別市内の公民館で
申込用紙をもらって、

参加費と一緒に7/26(火)までに

「教育委員会生涯学習課 青少年係」

に申し込んでください!

お問い合わせ先

教育委員会生涯学習課 青少年係
TEL:381-1069 (江別市高砂町24-6)

主催：江別市教育委員会 江別市子ども育成連絡協議会

共催：江別市青少年サークル 江別市青少年活動協会

令和 5年度 事務事業評価表【評価版】(令和 4年度実績)

【事業番号 6974】

事業名：江別の魅力「食」と「自然」を満喫できる体験型学習事業 生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育	戦略						
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実	具体的施策						
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市に居住する小学4年生から中学3年生の児童・生徒

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	小学4年生から中学3年生までの児童・生徒数	人	0	0	5,783	5,880
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

地域の住民団体やボランティア団体と協働して、江別市の魅力である「食」や「自然」を通じた体験型学習の機会を提供する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	体験型学習プログラム数	件	0	0	2	2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

豊かな自然環境の中での「自然体験学習」や「地場産品を活用した食育」を通じて、江別市の持つ様々な魅力が子どもたちに理解される。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	申込人数	人	0	0	23	50
成果指標 2	参加者数	人	0	0	23	50

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費 (A)	千円	0	0	205	260
正職員人件費 (B)	千円	0	0	1,901	1,921
総事業費 (A+B)	千円	0	0	2,106	2,181

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度	開催内容 ・レクリエーション（異年齢交流） ・自然体験学習 ・昼食・夕食（調理時に食育）	消耗品 88千円 指導員謝礼 48千円 食材費 48千円

えべ知るアカデミー ～君は江別の「食」と「自然」にSHOCKを受ける～

【日時】10月8日(土)、10日(月・祝) 10時00分～20時30分【雨天決行】

【内容】

10:00	10:15	11:00	12:00	13:00	14:00	15:30	17:00	18:00	19:00	20:15	20:30
開講式	レク (異年齢交流)	昼食調理 (食育)	昼食	夕食仕込 (食育)	レク (異年齢交流)	自然食育 自然教育	夕食調理 (食育)	夕食	焚火 (自然教育)	閉講式	解散

【会場】江別市都市と農村の交流センター「えみくる」(江別市美原1445) ※現地集合・現地解散

【対象】江別市内の小中学校に通う 小学4年生～中学3年生

【定員】各日25名(計50名)

【参加費】1,000円

【申込受付】受付期限：9月22日(木) 17時00分(必着)まで

申込方法：参加費とともに申込書を教育庁舎2階(高砂町24番地6)に直接提出

※各部で申込者が定員を超えた場合は、厳正なる抽選により参加者を決定し、抽選結果を9月27日(火)に発送します。

【食事】昼食は、江別産の新米を使用した塩むすび、焼きおにぎり、豚汁(予定)

夕食は、江別産の食材を使用したピザ、野菜サラダ(予定)

※アレルギーは、可能な範囲で対応しますが、上記が食べられない場合は事前にご相談ください。

【持ち物】不織布マスク(予備2枚)、軍手、水筒、ハンカチ、ポケットティッシュ、カッパ(雨天の場合)、エプロン、三角巾、防寒着(寒くなった時に着られるもの)

【服装】ジャージ等の動きやすい服装(上下とも長袖)

※焚火の際、火の粉が飛ぶ可能性がありますので、火傷防止のため、素肌に密着するタイツやスパッツ生地の衣類ではなく、燃えにくい素材の衣類を着用してください。

【新型コロナウイルス感染症対策】

- ・布やウレタン素材のマスクではなく、不織布マスクの着用を徹底します。
- ・事前に配付する健康観察表にて、参加日の7日前から検温等の体調管理を義務付けます。期間内に同居家族内に発熱症状がないことを必ずご確認ください。また、参加当日に健康観察表の提出がない場合及び発熱(平熱比+1度もしくは37.5度以上)や風邪症状がある場合は、参加をお断りする場合があります。
- ・当日は利用器具の消毒、講師・スタッフのマスク着用等の感染防止対策を講じた上で実施します。

【その他】

- ・参加者はレクリエーション保険に加入します。保険料は教育委員会が負担します。
- ・お申込みいただいた情報は、当事業の業務のみに使用します。
- ・事業当日に教育委員会が撮影した写真は、広報えべつや市のホームページ等に掲載することがあります。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては事業を中止する場合がございますので、その際はご理解くださいますようお願いいたします。

【問合せ・申込み先】

〒067-0074 江別市高砂町24-6 江別市教育委員会 生涯学習課 青少年係

TEL:011-381-1069/FAX:011-382-3434/E-mail:shogaigakushu@city.ebetsu.lg.jp

《 申 込 書 》

受付番号	(記載不要)		
ふりがな 氏名	ニックネーム <small>アカデミーで呼ばれたい ニックネームを必ず書いてね</small>		
住所	〒 江別市		
生年月日	平成 年 月 日	学校名	(年生)
保護者氏名	電話番号 (緊急時連絡先)		
※アレルギーの有無 どちらかに○をつけ、ありの場合は品目をご記載ください			
なし・あり (品目:) ※アレルギー対応については、すべてに対応できるものではありませんので、あらかじめご了承ください。			
※希望日に○をつけてください			
第1希望		第2希望	
10月8日(土)・10月10日(月・祝)		10月8日(土)・10月10日(月・祝)	